

2020年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	梶原 浩介	職名	講師	学位	博士(社会福祉学)
----	-------	----	----	----	-----------

研究分野	研究内容のキーワード
社会福祉学	家族福祉、子ども福祉、ファミリーソーシャルワーク、ソーシャルワーク

研究課題
地域で生活する家族が抱える生活課題(不登校・ひきこもり、子育て、虐待、介護、精神疾患など)に各当事者(家族一人ひとり、家族、地域の支援機関・施設の支援者等)に取り組む上で生じる語りを対象として、主に質的研究・量的研究を用いて考察する。家族が抱える生活課題の現状及び傾向、家族支援における視点、援助技術の生成などについて社会福祉学の観点により研究している。

担当授業科目
相談援助演習Ⅰ(1年次後期) 精神保健福祉に関する制度とサービス(2年次前期) 地域福祉論(2年次通年) 精神障害者の生活支援システム(2年次後期) 相談援助演習Ⅲ(2年次後期) 相談援助演習Ⅳ(3年次前期) 相談援助演習Ⅴ(0) 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ(3年次通年) 精神保健福祉援助実習Ⅰ(3年次通年) 専門研究Ⅰ(3年次通年) 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ(通年) 社会福祉特講Ⅱ(4年次後期) 精神保健福祉援助実習Ⅱ(4年次通年) 専門研究Ⅱ(4年次通年)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【相談援助演習Ⅰ】 近年の社会福祉に関する問題を取り上げ、その事例を基にグループワークを通して他者と意見を共有しながら、自分なりの理解を深めていく機会をできるだけ確保した。学生同士の振り返りを通して、個別の内容をグループ全体に共有することにより、学生自身の気づきを共有できる時間を設けた。福祉的課題・問題の理解については、主に複合課題を抱える家族の問題を事例として取り上げ、自己覚知・他者理解の促し、支援者に求められる基本的なコミュニケーション技術等について学生同士の関わりを生かして理解を深めた。
授業科目名【精神保健福祉に関する制度とサービス】 メンタルヘルスの課題を抱える当事者(精神障害者など)を取り巻く法制度の詳細についての理解を深めるとともに、相談援助活動を展開する精神保健福祉士の役割について捉えることを目指した。教科書の要点を整理したパワーポイント資料等を作成し、視覚情報として併用した。聴覚・視覚情報を併用することによって、学生が理解しやすいよう知識・技術の習得を促した。

<p>授業科目名【地域福祉論】</p> <p>地域福祉を捉える視点を学ぶとともに、地域福祉の主体や地域福祉の推進のための制度・仕組みについて理解することを目指した。教科書の要点を整理したパワーポイント資料等を作成し、視覚情報として併用した。聴覚・視覚情報を併用することによって学生が理解しやすいよう知識・技術の習得を促した。</p>
<p>授業科目名【精神障害者の生活支援システム】</p> <p>精神障害者の生活支援の意義と特徴およびそれに関する制度と施策、さまざまな活動領域における精神保健福祉士の相談援助活動について理解することを目指した。教科書の要点を整理したパワーポイント資料等を作成し、視覚情報として併用した。聴覚・視覚情報を併用することによって学生が理解しやすいよう知識・技術の習得を促した。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つである。講義では、複合課題を抱える家族への支援事例を用いて、ケースワークの展開プロセス、アセスメント技法、地域組織化活動の手法等について教授した。また、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション等を取り入れ、学生同士、様々な視点から事例検討が進められるよう工夫した。</p> <p>※相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴはオムニバス形式のため、講義内容・方法は同じ。</p>
<p>授業科目名【精神保健福祉援助実習指導Ⅰ】</p> <p>福祉学科3年生を対象にした実習科目。精神科医療機関への実習に向けての事前及び事後学習として、実習中に求められる知識・技術、学生の疑問等を整理の上で、学生自身が実習に取り組む主体者として学習できるよう担当教員一同にて検討の上、工夫した。</p>
<p>授業科目名【精神保健福祉援助実習指導Ⅱ】</p> <p>福祉学科4年生を対象にした実習科目。3年次の医療機関の実習を踏まえて、更なるステップアップを目指していきけるよう、4年次の地域実習に向けての事前及び事後学習として、実習中に求められる知識・技術、学生の疑問等を整理の上で、学生自身が実習に取り組む主体者として学習できるよう担当教員一同にて検討の上、工夫した。そして、実習後は報告会を通して、学生自身が実習中の学びを、より実践的な理解として深めた。</p>
<p>授業科目名【社会福祉特講Ⅱ】</p> <p>本科目は、4年次の開講科目であり、社会福祉士国家試験対策としての位置づけもある。講義では、地域福祉論を担当し、国家試験で出題が予想される制度改正や学生の理解度が十分でないと思われる内容を中心に教授した。</p>
<p>授業科目名【専門研究Ⅰ】</p> <p>本科目では、ゼミ全体で研究テーマを設定した後、各人が個別の課題について自己学習を行った。学生指導においては、できる限り各人が研究への関心を高め、意欲的に学習に取り組めるよう努めた。</p>
<p>授業科目名【専門研究Ⅱ】</p> <p>本科目では、各人が研究テーマ・課題を設定し、調べ学習及びレポート作成に取り組んだ。学生指導においては、各人とのコミュニケーションを密に図り、進捗状況に応じた個別指導を心がけた。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本社会福祉学会	九州地域部会事務局員 (2018年6月～現在に至る)	2014年6月～現在に至る
日本地域福祉学会		2019年6月～現在に至る
日本ソーシャルワーク学会		2014年7月～現在に至る
日本学校ソーシャルワーク学会		2012年5月～現在に至る

2020年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(著書) 「第4章 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題」</p>	<p>共 著</p>	<p>2021年 5月 (発行予定)</p>	<p>ミネルヴァ書房・『入門 地域福祉と包括的支援体制』・1-171 頁</p>	<p>担当章では、まず地域社会の概念と理論を概観した。次に、日本の人口動態の推移や過疎化、都市化、地域間格差等の現状を理解した。そして、地域住民が抱える地域生活課題の現状と課題について説明できるようになることを目標に学習内容を構築した。近年、問題視される地域生活課題の背景には社会的孤立や社会的排除、セルフネグレクトの問題が潜んでいる。担当章を通し、主に公式な統計資料などをもとに近年の地域生活課題の現状と課題について理解を深められる内容を目指した。(213 字) (著者) 川村匡由, 豊田宗裕, 小野篤司, 岡部由紀夫, 松永尚樹, 倉持香苗, 梶原浩介, 山村靖彦, 石田路子, 谷川和昭 (担当頁) 第4章を担当。</p>
<p>(学術論文) 【研究ノート】 「地域共生社会と制度の狭間の問題を抱える家族支援に関する一考察-8050問題に焦点を当てて-」</p>	<p>共 著</p>	<p>2021年 3月</p>	<p>日本社会福祉学会九州部会・『九州社会福祉学』・第17号・69-81 頁</p>	<p>本稿では、制度の狭間の問題を抱える家族支援に関する研究である。特に8050問題を抱える家族に焦点を当てている。主に公的資料に基づき、8050問題を抱える家族の現状について整理し、家族に対する支援の課題について考察する。その結果、(1)家族の現状として、①8050問題を抱える家族の特徴、②高齢者支援を通じてのひきこもり当事者の発見、(2)家族の課題として、①制度外サービスの不足、③ひきこもり当事者に対する生活支援の不足、③地域を基盤とするジェネラリストソーシャルワーカーの必要性について明らかにした。(251 字)(※査読有) (著者) 梶原浩介, 本郷秀和</p>
<p>(翻訳)</p>				
<p>(学会発表)</p>				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
地域包括ケアシステム推進下における介護系NPOの役割	日本学術振興会	研究代表者(○本郷秀和)、分担研究者(鬼崎信好、村山浩一郎、松岡佐智、畑香理、田中将太、島崎剛)、梶原浩介	4,420,000円

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
地域共生社会の推進に伴う、制度の狭間の問題に対するソーシャルワーカーの役割と技能	日本学術振興会	2,210,000円	

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
福岡県社会福祉士会	研究誌 査読委員	2018年10月
熊本県精神保健福祉士協会 SSW委員会	調査研究班	2014年11月～現在に至る
日本精神保健福祉士協会		2014年5月～現在に至る
福岡県精神保健福祉士協会		2019年12月～現在に至る
北九州地区精神保健福祉士協会		2019年12月～現在に至る
北九州市民カレッジ企画運営委員会	企画運営委員	2019年12月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

宗教委員会	2019年4月～2021年3月
・委員	2019年4月～2020年3月
・副委員長	2020年4月～2021年3月
地域連携室	2020年4月～現在に至る
・室員	2020年4月～現在に至る
学生アドバイザー	2019年4月～現在に至る